

## ■LinuxMania インストールガイド補足 - SSD 利用時のパーティションについて

LinuxMania ではパフォーマンスの向上、並びに SSD を長くご使用いただけますよう、SSD と HDD のパーティションを以下の通りに設定することを推奨しております。

- ・ SSD : / (root 以下) を割り当て
- ・ HDD: スワップ領域 (※) と /home を割り当て

※スワップ領域は物理メモリの容量 × 2 を割りてます。

例) SSD 40GB、HDD 1TB、物理メモリ 16GB のパーティション

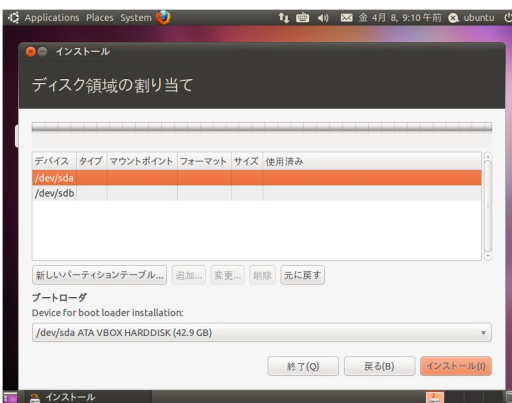
- ・ SSD : / → 40GB
- ・ HDD : スワップ領域 → 32GB、/home → 968GB

パーティション作成手順をご説明します

<< 軽子坂モデル、行人坂モデル (Ubuntu 10.10) のパーティション作成手順 >>  
Ubuntu10.10 インストールガイド「5.ディスク領域の割り当て」に代わり、以下の操作を行います。



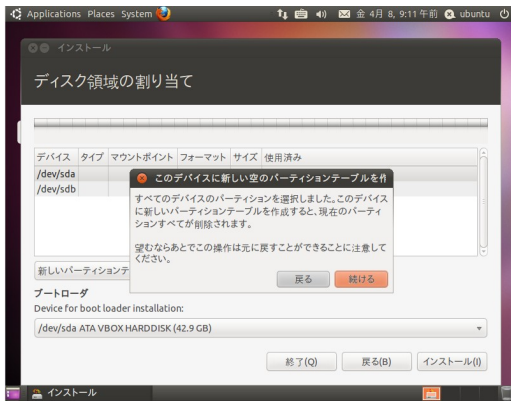
1. [手動でパーティションを設定する] を選択し、[進む] ボタンを押します。



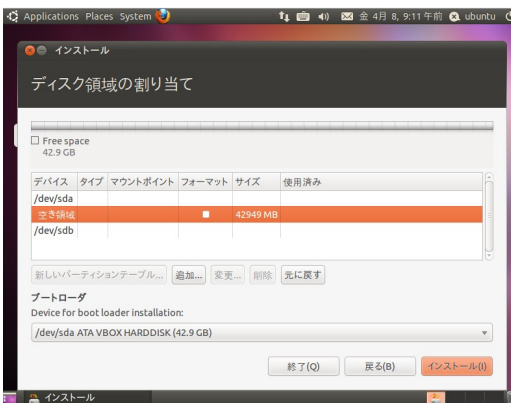
2. /dev/sda (※) を選択し、[新しいパーティションテーブル...] ボタンを押します。

※ あらかじめ /dev/sda が SSD、/dev/sdb が HDD となっていることを確認します。確認方法は、画面下ブートローダーのドロップダウンボックスにて確認できます。SSD は /dev/sda/(SSD モデル名) で表示されます。

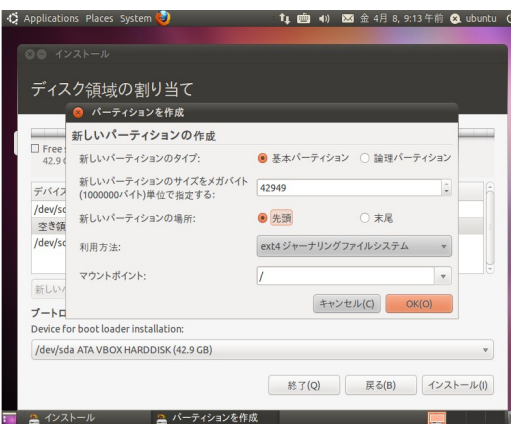
例)  
SSD : /dev/sda/ ATA INTEL SSDSA2M040(40GB)  
HDD: /dev/sdb/ ATA Hitachi HDS72302(2.0TB)



3. ポップアップが表示されますので、**[ 続ける ]** ボタンを押します。



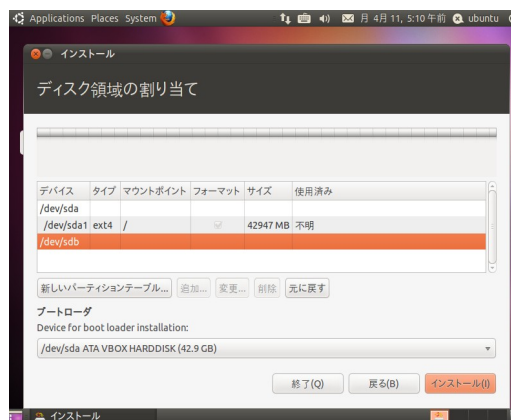
4. `/dev/sda` の下の空き領域を選択し、**[ 追加 ]** ボタンを押します。



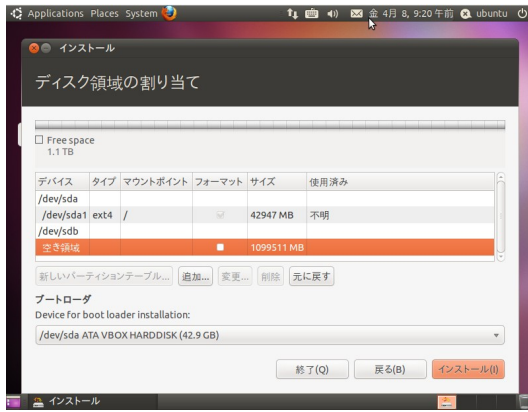
5. 以下の設定で、**[OK]** ボタンを押します。

- ・新しいパーティションのタイプ：基本パーティション
- ・新しいパーティションのサイズ：SSDの全容量(※)
- ・新しいパーティションの場所：先頭
- ・利用方法：ext4 ジャーナリングファイルシステム
- ・マウントポイント：/

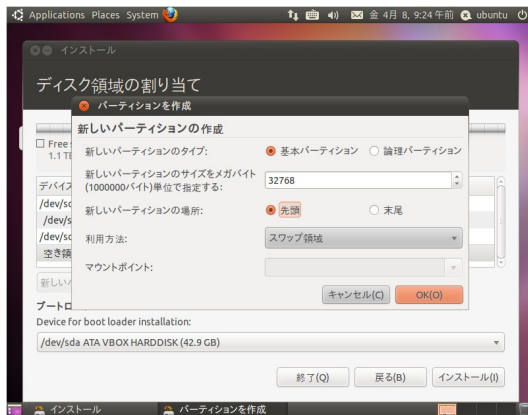
※ デフォルトの入力値がSSDの全容量です。



6. `/dev/sdb` を選択し、**[ 新しいパーティションテーブル... ]** ボタンを押します。ポップアップが表示されますので、**[ 続ける ]** ボタンを押します。



7. /dev/sdb の下の空き領域を選択し、[追加]ボタンを押します。

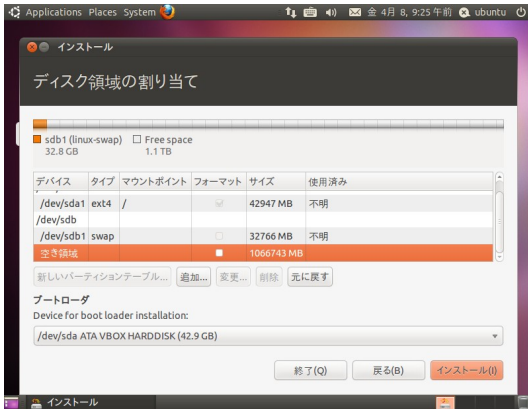


8. 以下の設定で、[OK]ボタンを押します。

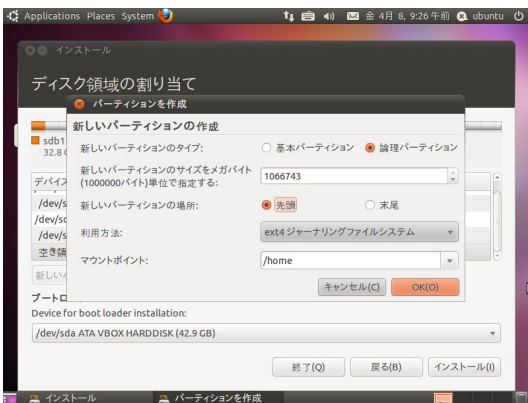
- ・新しいパーティションのタイプ：基本パーティション
- ・新しいパーティションのサイズ：物理メモリ ×2 の容量 (\*)
- ・新しいパーティションの場所：先頭
- ・利用方法：スワップ領域

※ 物理メモリ毎のパーティションサイズ

2GB	→	4000
4GB	→	8000
8GB	→	16000
16GB	→	32000



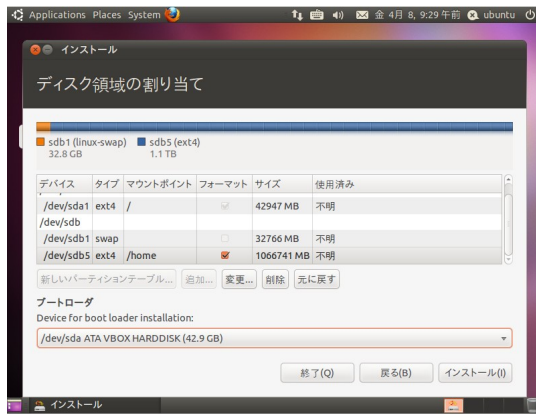
9. /dev/sdb の下の空き領域を選択し、[追加]ボタンを押します。



10. 以下の設定で、[OK]ボタンを押します。

- ・新しいパーティションのタイプ：論理パーティション
- ・新しいパーティションのサイズ：HDD の空容量 (\*)
- ・新しいパーティションの場所：先頭
- ・利用方法：ext4 ジャーナリングファイルシステム
- ・マウントポイント：/home

※ デフォルトの入力値が HDD の空容量です。



11. ブートローダのドロップダウンリストから /dev/sda/(SSD のモデル名) を選択し、[インストール] ボタンを押します。

以降の操作は、Ubuntu10.10 インストールガイド「8. タイムゾーン」からの続きとなります。